

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 153-8577

住 所 東京都目黒区上目黒一丁目21番12号

氏 名 株式会社 東急ストア

取締役社長 大堀 左千夫

印

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社東急ストア		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区東扇島23-4		
該当する事業者 の要	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	I	卸売業, 小売業
	中分類	56	各種商品小売業
主たる事業 の内容	総合小売業のチェーンストア		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	5,629	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
		電話番号	
		FAX番号	
		メールアドレス	
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	2019 年度 ~ 2021 年度 (報告年度 2021 年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況 (第1、2、4号該当者等)

(1) 計画期間における温室効果ガスの排出の量等の状況

ア 温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
	(2018年度)	(2019年度)	(2020年度)	(2021年度)	
排出量 (t-CO2)	(実) 9,109	(実) 9,094	(実) 10,912	(実) 10,802	(実) 9,409
	(調) 8,762	(調) 8,646	(調) 10,471	(調) 9,884	(調) 9,056
削減率		(実) 0.2 %	(実) -19.8 %	(実) -18.6 %	(実) -3.3 %
		(調) 1.3 %	(調) -19.5 %	(調) -12.8 %	(調) -3.4 %

イ 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値 (任意記載)

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標とした値
	(2018年度)	(2019年度)	(2020年度)	(2021年度)	
排出量原単位等の値	100.0	92.90	132.0	132.5	97.00000
活動量の値	27975.9	28373.5	28603.7	28491.5	-
排出量原単位等の削減率		7.1 %	-32.0 %	-32.5 %	3.0 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況等についての説明

第1年度	外部機関の利用(節電コンサル導入)や各店舗による節電に向けた取り組みにより、基準年度に比べ排出量を15tCO2削減できた。				
第2年度	外部機関利用(節電コンサル導入)や各店舗による節電に向けた取り組みを行ったが、流通センターにて施設設備の増設(精肉加工センターおよびペットボトル等のリサイクルセンター)、宮前平駅前店の新設により排出量は基準に比べ1,803 t CO2増加、前年に比べ1,818 t CO2の増加となった。またさぎ沼店の灯油使用量の増加も要因となる。(感染対策としての冬季暖房費の増加による)				
第3年度	第2年度に店舗や事業所を新設したことにより、調整後排出量は基準年度排出量比で1,122tCO2の増加、目標排出量比では828tCO2の増加となった。しかしながら外部機関利用(節電コンサル導入)や各店舗による節電に向けた取り組みを行ったことで、前年度排出量比では587tCO2の減少となった。				
計画期間における排出量増減等の評価 (第3年度の報告時に記載)			第2年度に店舗や事業所を新設したこと、また、感染症対策を実施したことで目標値未達成となった。		
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)			空調や照明の使用時間を見直す等、引き続き徹底した温室効果ガス排出量の削減に取り組む。		

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況 (全社目標) (任意記載)

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況

(1) 措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない装置を実施した場合は、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

<p>計 画</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○外部機関等の利用 ○主要設備の保守管理 ○空気調和設備の効率管理 ○空気調和設備の保全管理 ○変圧器等の適正管理
<p>第1年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○外部機関等の利用 節電コンサルの利用 ○主要設備の保守管理 管理基準をもとに実行および検討を実施 ○空気調和設備の効率管理 制御装置にて空調機の省エネを実施 ○空気調和設備の保全管理 管理基準をもとに実行および検討を実施 ○変圧器等の適正管理 各種計器類の日常的な目視点検を実施
<p>第2年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○外部機関等の利用 節電コンサルの利用 (各拠点にモバイル端末を導入) ○主要設備の保守管理 管理基準をもとに実行および検討を実施 ○空気調和設備の効率管理 制御装置にて空調機の省エネを実施 ○空気調和設備の保全管理 管理基準をもとに実行および検討を実施 ○変圧器等の適正管理 各種計器類の日常的な目視点検を実施
<p>第3年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○外部機関等の利用 節電コンサルの利用 (各拠点にモバイル端末を導入) ○主要設備の保守管理 管理基準をもとに実行および検討を実施 ○空気調和設備の効率管理 制御装置にて空調機の省エネを実施 ○空気調和設備の保全管理 管理基準をもとに実行および検討を実施 ○変圧器等の適正管理 各種計器類の日常的な目視点検を実施 ○流通センターに太陽光パネルを設置(追加実施)
<p>計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)</p>	<p>計画については前年度において概ね実施ができた。また、第3年度においては新たな取り組みの追加実施ができた。</p>

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 前年度における再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(追加検討を実施した場合は「○」、追加の検討を実施していない場合は「×」を記載してください。また、追加検討を実施した場合はその結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	追加検討の有無	検討結果
太陽光	○	導入済み
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他()		
その他()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度
太陽光	東扇島流通センター内 830,037kwh/年	2021

(3) 前年度に実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入状況

(追加導入がある場合は「○」、追加導入がない場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	追加導入の有無	設備等の種類	追加導入の有無
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	○
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他()	
EV、PHV、FCV	×	その他()	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	現時点での計画はないが、以降検討していく。
第1年度	現時点での計画はないが、以降検討していく。
第2年度	現時点での計画はないが、以降検討していく。
第3年度	現時点での計画はないが、以降検討していく。

5 その他、地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	現時点での計画はないが、以降検討していく。
第1年度	現時点での計画はないが、以降検討していく。
第2年度	現時点での計画はないが、以降検討していく。
第3年度	現時点での計画はないが、次期以降も検討していく。

6 基準年度からのエネルギー起源CO₂の排出の量等の推移（1、2号該当者等）

(1) 事業者単位

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
エネルギー起源 CO ₂ 排出量	9,109 t-CO ₂	9,094 t-CO ₂	10,912 t-CO ₂	10,802 t-CO ₂
原油換算エネルギー 使用量	4,548 KL	4,739 KL	5,569 KL	5,629 KL
事業所の数	9	10	11	11

(2) 事業所等単位

ア 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度

イ 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
東急ストア フレルさぎ沼店	神奈川県川崎市宮前区鷺沼1-1	2,142	2,119	2,306	2,056
東扇島流通センター	神奈川県川崎市川崎区東扇島23-4	1,993	2,178	3,973	4,199